



# 家庭菜園

Beginner's

## プランター栽培編



JA 滋賀蒲生町

# プランター栽培を楽しもう

庭の片隅やベランダなどで楽しめる容器栽培は、畑のある方でも、畑とは一味ちがった野菜づくりを楽しめます。

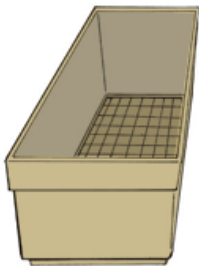


庭の片隅やベランダなどで楽しめる容器栽培は、畑のある方でも、畑とは一味ちがった野菜づくりを楽しめます。

葉ものや薬味などは、台所の近くの手の届く場所で栽培すれば畑に出る手間が省けて便利です。また、容器栽培は連作による被害が出にくく、生育や気温に応じて栽培容器を移動させられるので便利です。

## 【容器のいろいろ】

プランターは容器栽培用として最も一般的なプラチック成型容器です。サイズも多く、最近では機能的なものが販売されているので、置き場所や、作る野菜に合わせて選べます。またデザインも豊富なので庭やベランダのデザインに合わせるのも楽しいですね。その他、肥料袋など工夫すればいろいろな素材が使えます。



### プランター

サイズやタイプはいろいろ  
4ℓ～50ℓをこえるものまで  
二重底や穴底タイプも



### ポリトロ (発泡スチロール)

平箱型、長箱型、  
深箱型など  
底に排水穴をあけて使う



### 肥料袋

丈夫な肥料袋は土を入れても  
やぶれにくい  
底に排水穴をあけて使う

## 【容器栽培におすすめ野菜】

容器栽培では、ほとんどの野菜は作ることが可能です。しかし、簡易なものや難易なものがあり、畑で栽培するよりプランターの方が手間がかかってしまう場合もあるので、容器栽培では、生育期間が短く、背丈の低い葉もの、根菜なら根も葉も小さいものをおすすめです。

種類	容器栽培におすすめ野菜	
	三つ葉	アサツキ
パセリ	にら	ワケギ
ネギ	トマト	芽キャベツ
ラディッシュ	ブロッコリー	小松菜
ミニトマト	カリフラワー	セロリ
小カブ	キャベツ	ピーマン
レタス	コールラビー	おかのり
サラダ菜	(カブカンラン)	
ハウレンソウ	シュンギク	など



## 【用土の作り方】

プランターなどでの栽培では用土の量が限られてしまうので、少ない用土で、根張りや水・肥料持ちを良くするため、容器栽培に適した用土を用意します。

畑の土を使う場合は、腐葉土と元肥（油カスを一握り程度）をよく混ぜ合わせ、フカフカの土（団粒構造）を作ります。

田んぼの土を使う場合は、石灰も使って酸性濃度を調整します。プランター専用の土ならそのまま使えて便利です。

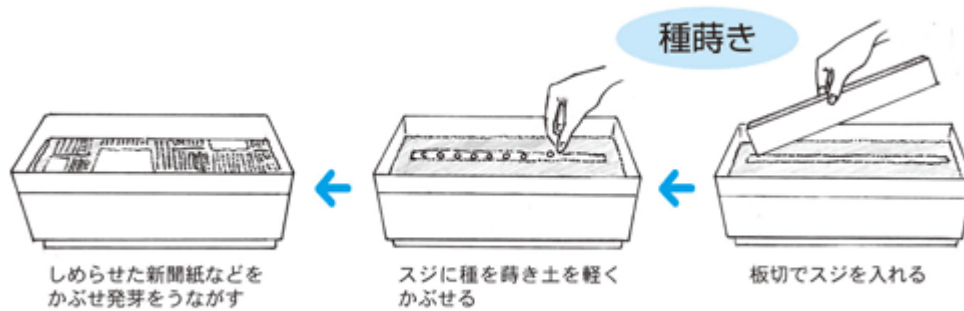
## 【団粒構造の土を作しましょう】

硬く乾いた土は単粒構造で、土の粒子と粒子の間にすき間がなく、保水・排水、通気がよくない畑の土を使う場合は、腐葉土をよく混ぜて、フカフカで水保ち・排水・通気性の良い団粒構造にしてください。

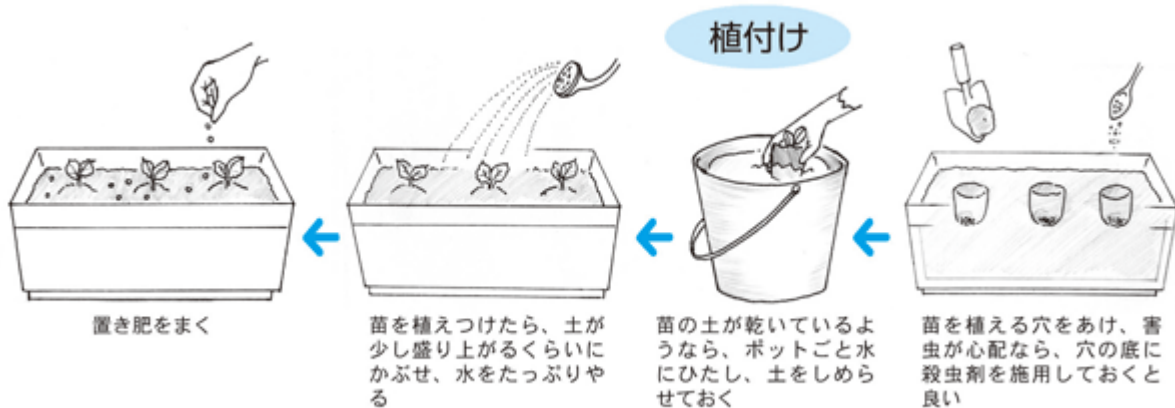
団粒構造は土の中に大小さまざまな大きさの隙間ができて、植物の成長に良い構造です。

## 【種蒔き・植付け】

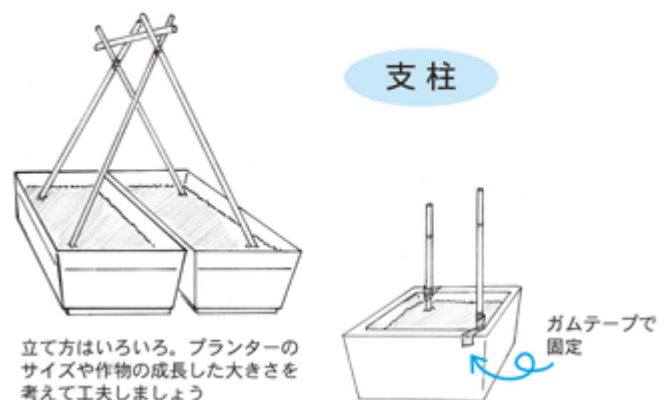
種を蒔く場合は、1列もしくは2列のスジ蒔きにします。板切れなどで土に深さ1cm程度のスジを入れ、種を蒔いたら5mmの厚さに土をかぶせます。上から軽く手や板切れで押えてから、たっぷり水をやり、水で湿らせた新聞紙などをかぶせて発芽を促します。芽が出たら、等間隔に間引きしていきます。



苗の場合は、等間隔に穴をあけ、苗の土が乾いているようならポットごと水に軽く浸します。苗が折れないようにそっとポットを外して、穴に入れたら、すき間を埋めるように土をかぶせ、水をたっぷり与えてから、置き肥を撒いておきましょう。



ミニトマトのように支柱が必要な野菜は、支柱を立てる場所が必要になるので、プランターの大きさと野菜が成長する大きさを考え、苗を植える間隔を広く取っておきましょう。



## 【用土の再利用】

容器栽培には用土がたくさん必要ですので、1回使った土も再利用して繰り返し使います。再利用する時に気を付けたいのは、前作の残根と病害虫です。

1度栽培が終了した土は、水を切り土が乾いたら篩（ふるい）に通して前作の根を取り除きます。その後で、水を充分にかけて、土の塩類をできるだけ流出させ、透明度の高いビニール袋に入れ、口をしっかりとしばって炎天下に放置し土の消毒を行います。

よく晴れた日に10日～15日間さらしておけば消毒効果はあると思われます。（土の温度は70℃以上が望ましい）心配のようなら温度計で測ってみましょう。

消毒を終えた土は、そのまま袋の中に放置するとカビなどの原因になるので、すぐに利用するか、もしくは、一度プランターなどに移し少し湿っている程度まで乾かしたら、肥袋などに入れて保存しておきます。再度使う時は元肥（油カスを一握り程度）を追加しましょう。

